

# 2017年3月期 決算説明会

1. 当期決算の概要(連結)
2. 次期業績見通し
3. 前中期経営計画の総括
4. 中期経営計画 TRANSFORM 2020

2017年5月16日

**日本光電工業株式会社**

証券コード : 6849

<http://www.nihonkohden.co.jp>

*Fighting Disease with Electronics*



1

# 当期決算の概要(連結)

# 1) 当期の決算概要

	前期 2016/3	当期 2017/3				対前期増減率 (%)
		期初予想	11月4日 修正予想	2月1日 修正予想	実績	
売上高	165,522	175,000	170,500	168,000	166,285	0.5
国内売上高	121,989	127,000	126,300	124,000	124,764	2.3
海外売上高	43,533	48,000	44,200	44,000	41,520	△ 4.6
営業利益	16,438	17,500	17,000	15,500	13,585	△ 17.4
経常利益	16,116	17,500	16,000	16,000	14,053	△ 12.8
親会社株主に帰属する 当期純利益	10,516	11,500	10,700	10,300	9,149	△ 13.0
平均レート	(2016/3)	(2017/3)	(2017/3)	(2017/3)	(2017/3)	
1ドル	120.1円	109円	104円	109円	109.2円	
1ユーロ	132.4円	123円	116円	119円	119.3円	

(単位:百万円、単位未満切捨て)

← 為替影響除く: +6%

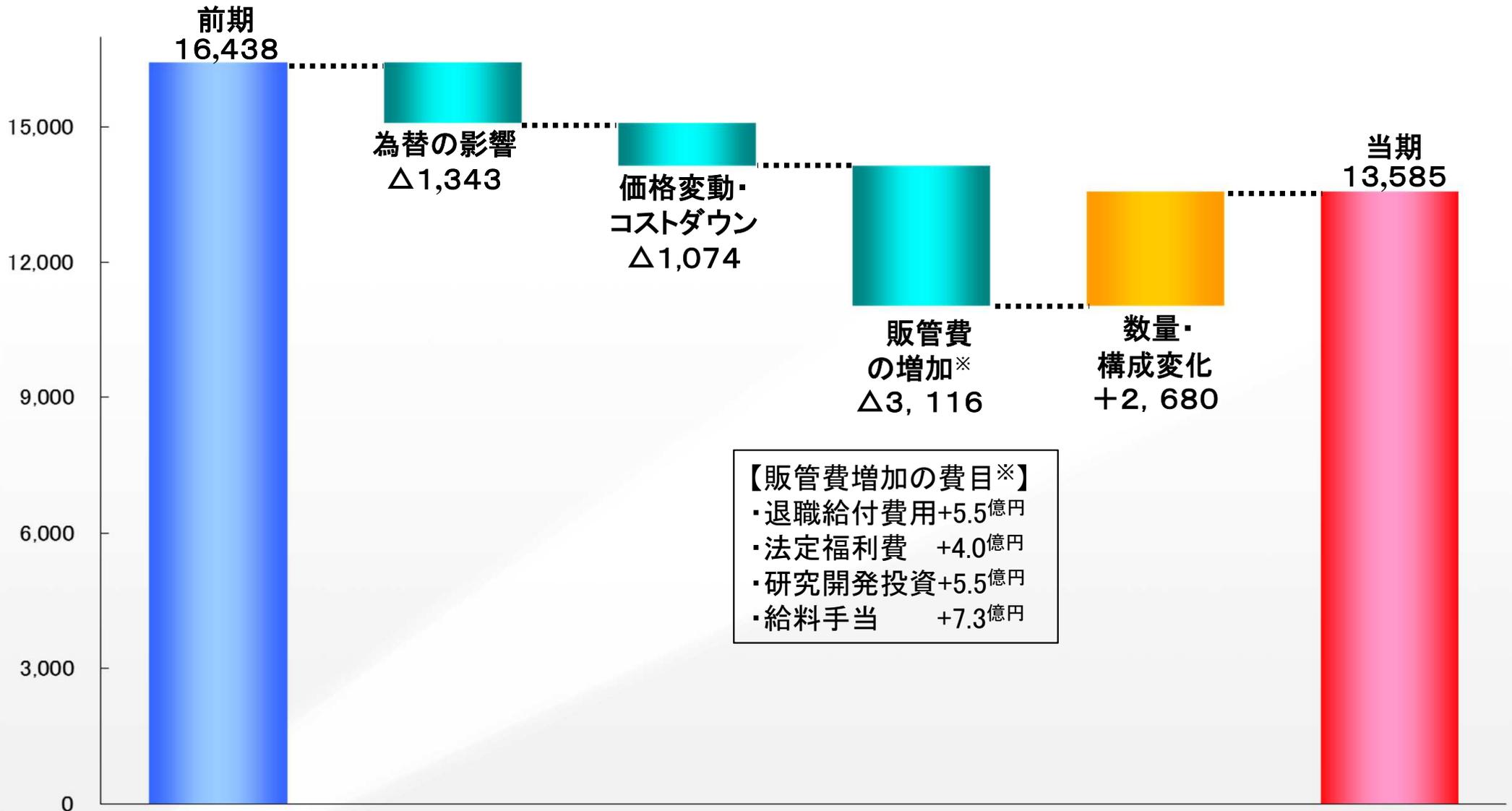
2016/3 2017/3  
粗利率: 48.8% → 47.6%  
販管費率: 38.9% → 39.4%

2016/3 2017/3  
為替差損 為替差損  
911百万円 → 254百万円

← 2017/3  
投資有価証券売却益: 416百万円  
投資有価証券評価損: 257百万円  
事業所移転費用: 271百万円

# 2) 営業利益増減の要因分析

(単位: 百万円)



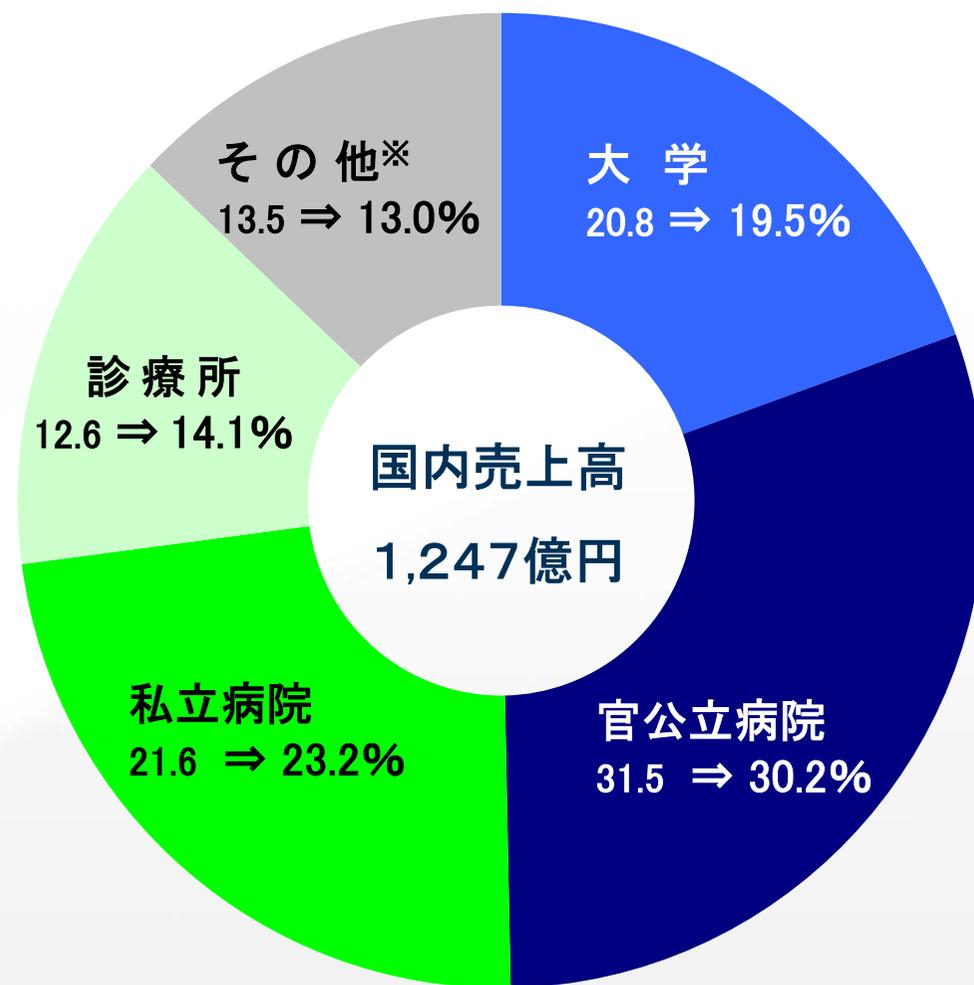
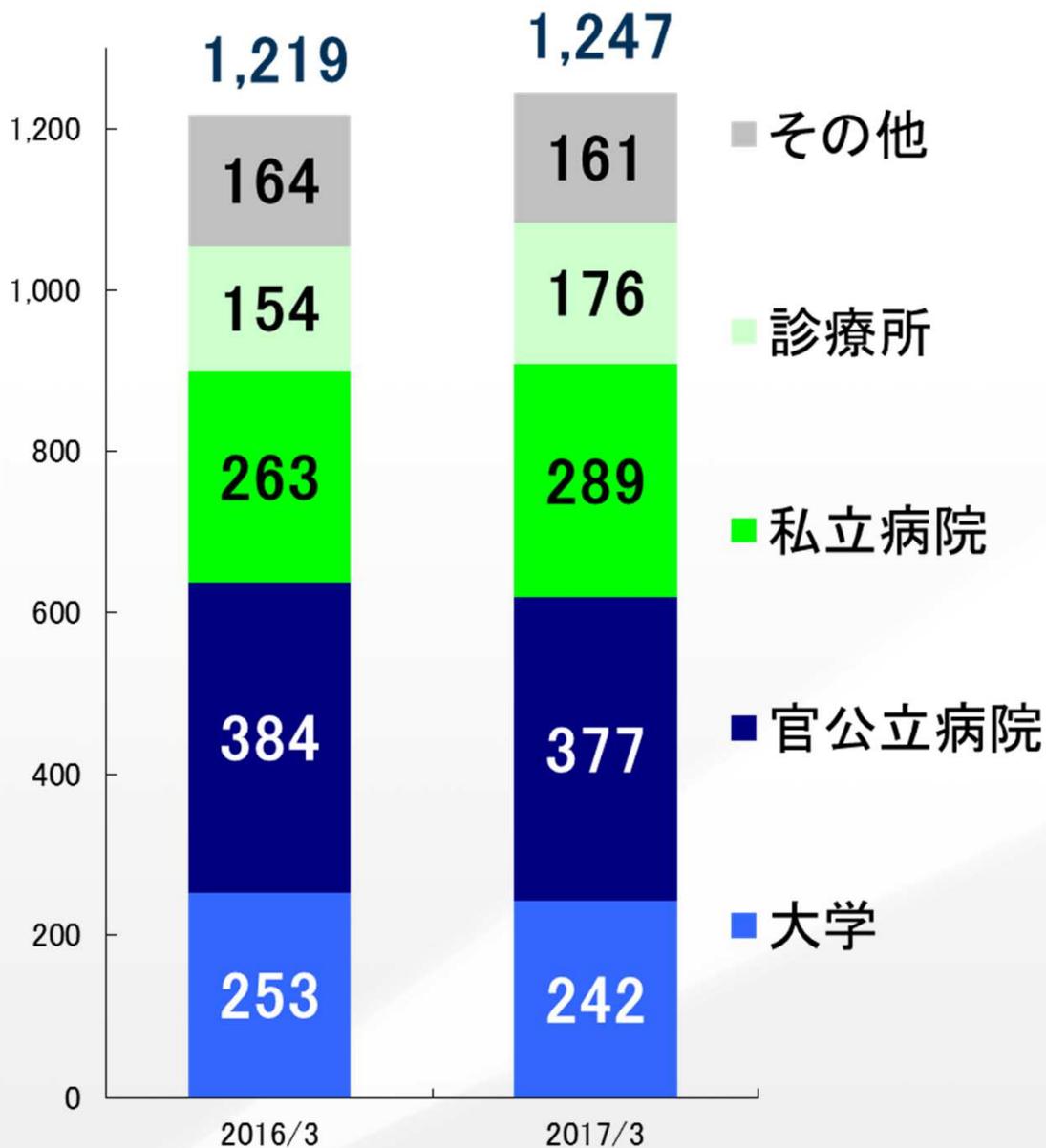
※「販管費の増加」は為替の影響を除いた営業利益増減要因としての金額、  
「販管費増加の費目」は円建ての販売費及び一般管理費のうち主な増加金額を表しています。

# 3) 国内売上高

【市場別売上高】

市場別売上構成比  
(2016/3⇒2017/3)

(億円)

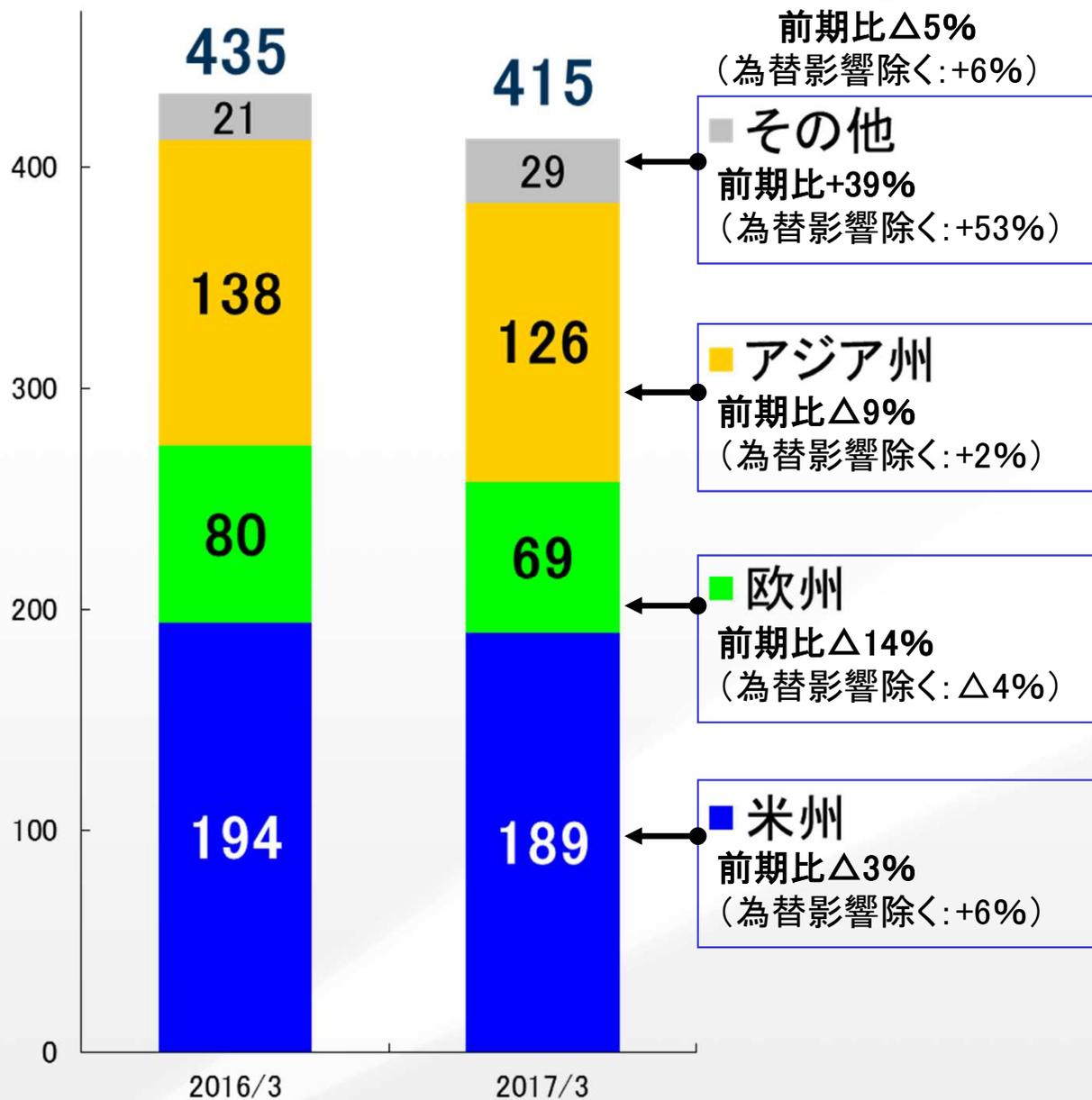


※その他には、研究所、動物病院、消防など行政機関のほか、AED納入先である学校や民間企業を含みます。

# 4) 海外売上高

【地域別売上高】

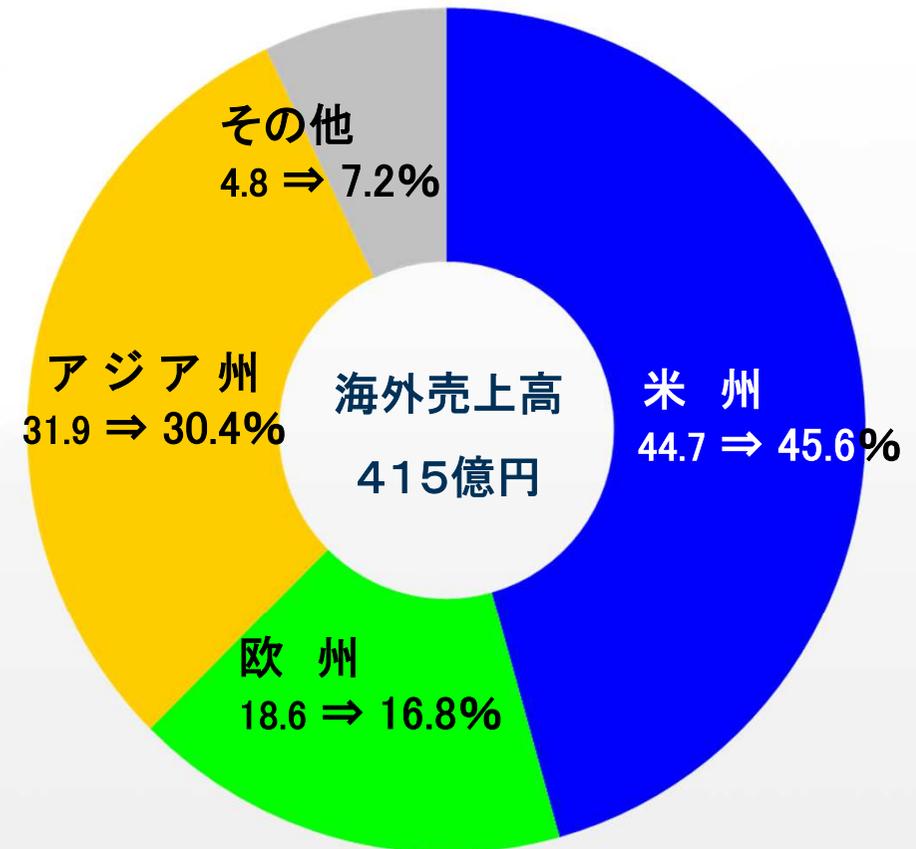
(億円)



海外売上高比率

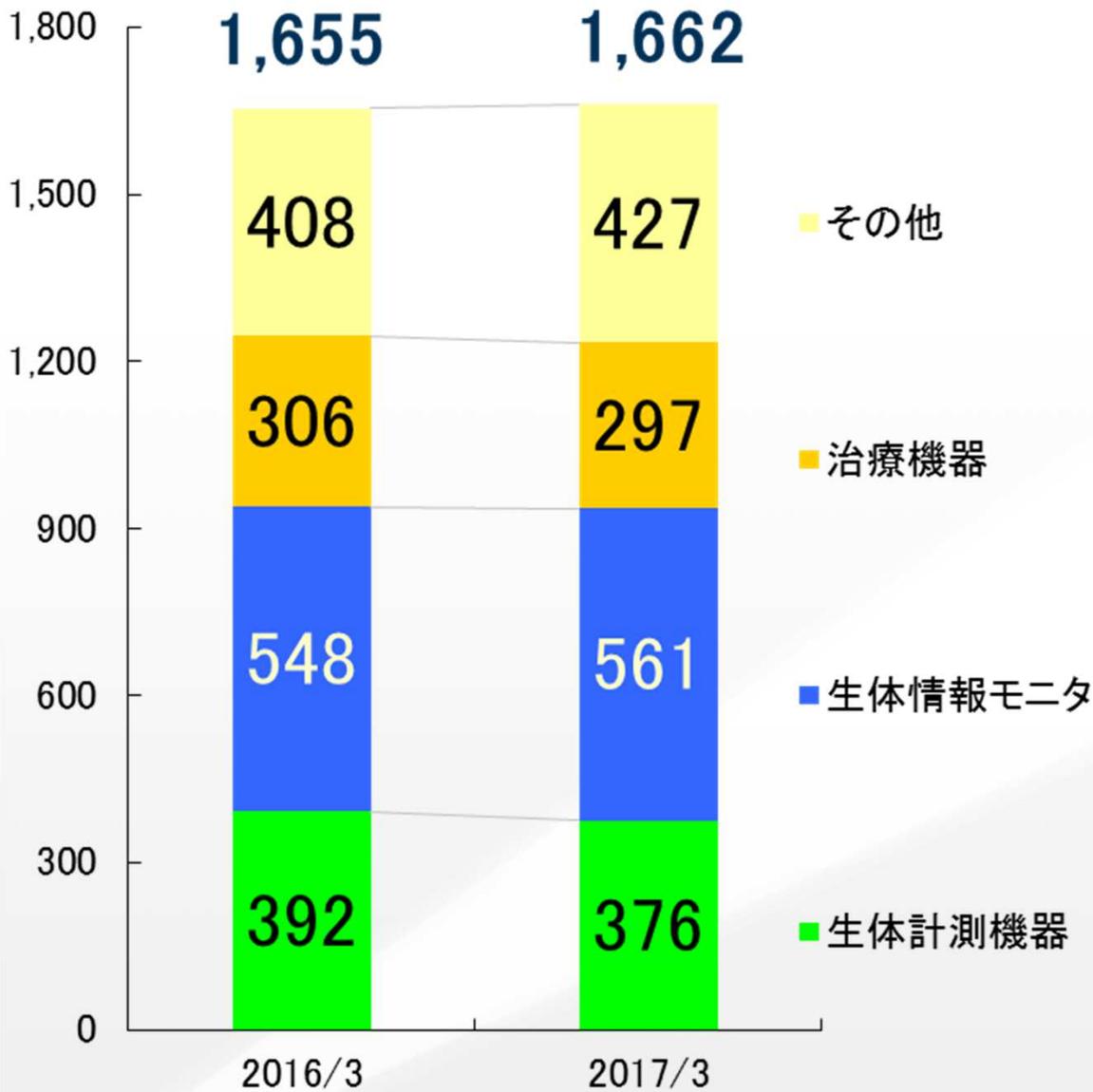
2016/3	2017/3
26.3%	25.0%

地域別構成比  
(2016/3⇒2017/3)

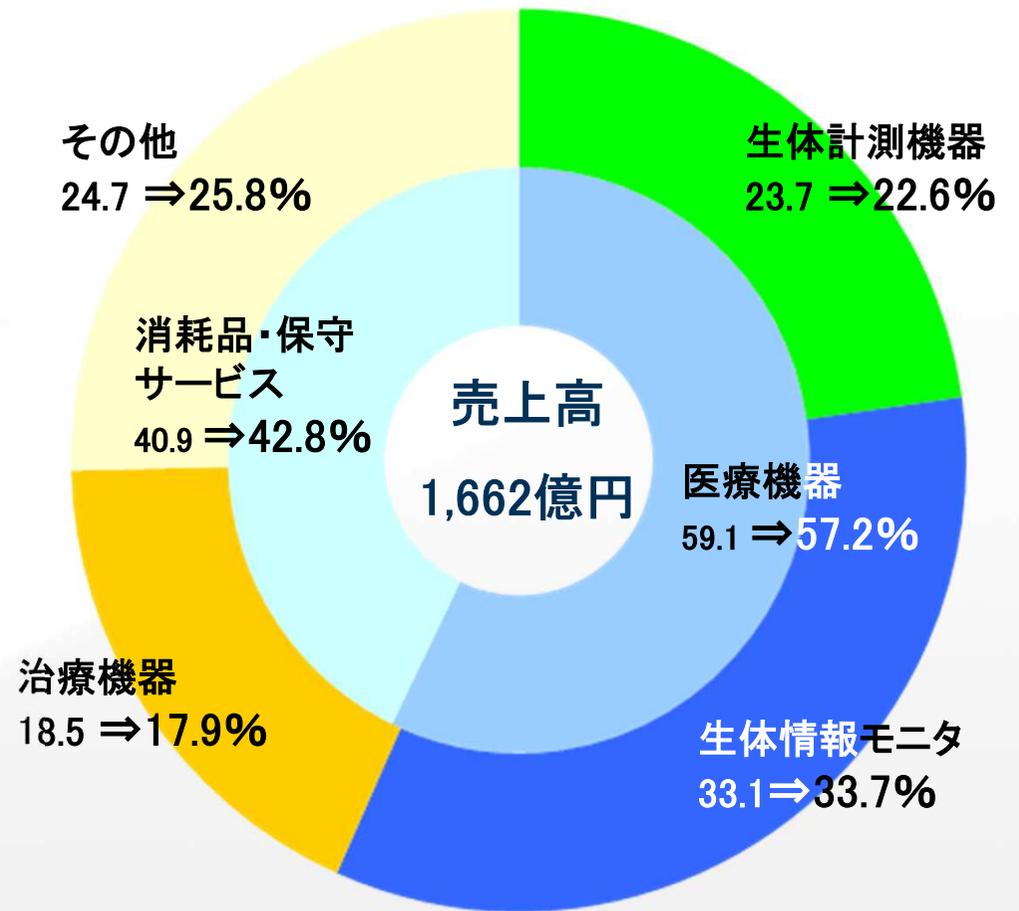


# 5) 商品群別売上高

(億円)



商品群別売上構成比  
(2016/3⇒2017/3)



# 5.1) 生体計測機器

	前期 2016/3	当期 2017/3	増減率(%)
脳神経系群	8,200	7,372	△ 10.1
心電計群	7,163	6,620	△ 7.6
心臓カテーテル検査装置群	11,254	12,330	9.6
その他(診断情報システム等)※	12,599	11,334	△ 10.0
生体計測機器合計	39,218	37,658	△ 4.0
うち国内売上高	29,944	29,748	△ 0.7
うち海外売上高	9,274	7,910	△ 14.7

(単位:百万円)

← 国内・海外ともに前期を下回る

← 国内・海外ともに前期を下回る

← 【国内】電極カテーテルの売上が伸長

※その他には、診断情報システムや他社製の生体計測機器を含みます。



神経機能検査装置  
MEE-2000

**New!**



心電計 ECG-2450



臨床用ポリグラフ RMC-5000

# 5.2) 生体情報モニタ

	前期 2016/3	当期 2017/3	増減率(%)
生体情報モニタ合計	54,823	56,117	2.4
うち国内売上高	34,616	36,032	4.1
うち海外売上高	20,207	20,084	△ 0.6

(単位:百万円)

- ・送信機、医用テレメータ、ベッドサイドモニタが好調。
- ・センサ類など消耗品も好調
- ・その他地域での売上が大幅に伸長。米州も前期を上回る
- ・欧州、アジア州で前期を下回る



ベッドサイドモニタ  
CSM-1901



医用テレメータ  
WEP-5250シリーズ

New!



バイタルサインテレメータ  
GZ-140P



SpO<sub>2</sub>  
プローブ



CO<sub>2</sub>測定用  
酸素マスク



心電図  
電極

消耗品関連

# 5.3) 治療機器

(単位:百万円)

	前期 2016/3	当期 2017/3	増減率(%)
医科向け除細動器	5,670	5,109	△ 9.9
A E D	13,825	13,175	△ 4.7
ペースメーカー・ICD	2,914	3,111	6.7
人工呼吸器	1,790	2,205	23.2
その他の	6,410	6,127	△ 4.4
治療機器合計	30,611	29,728	△ 2.9
うち国内売上高	21,584	21,315	△ 1.2
うち海外売上高	9,027	8,412	△ 6.8
(参考)AED販売台数	87,500	84,700	△ 3.2
うち国内販売台数	48,800	44,300	△ 9.2

- ← 国内・海外ともに前期を下回る
- ← 【国内】更新需要の鈍化により低調  
【海外】アジア州、その他地域で好調。  
米州、欧州で前期を下回る
- ← 【国内】販促活動が奏功。病院新設に伴う新規受注も寄与



除細動器  
TEC-5600シリーズ



AED  
AED-3100



心臓ペースメーカー  
Zenex MRI



人工呼吸器  
HAMILTON-C1

New!



CPRアシスト  
CPR-1100

# 5.4) その他

(単位:百万円)

	前期 2016/3	当期 2017/3	増減率(%)
検体検査装置	11,382	12,074	6.1
画像診断装置、 研究用機器他 <sup>※</sup>	29,485	30,707	4.1
その他合計	40,868	42,781	4.7
うち国内売上高	35,843	37,668	5.1
うち海外売上高	5,024	5,112	1.8

【国内】私立病院、診療所市場が好調  
 【海外】微減。米州、欧州で好調。アジア州で前期を下回る。新商品が寄与

※他の商品群に分類されない、消耗品や設置工事・保守サービスを含みます。

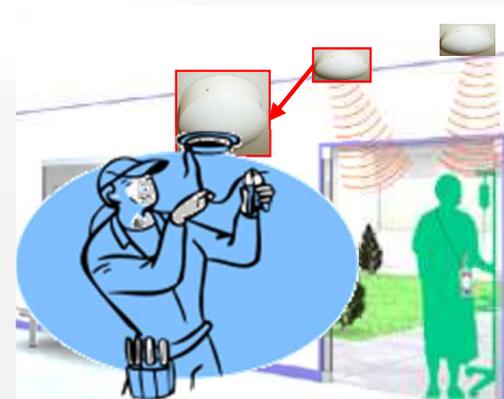
**New!**



全自動血球計数器  
MEK-9100



臨床化学分析装置  
CHM-4100



設置工事・保守サービス

# 6) 財政状態

(単位: 百万円)

	前期末 2016/3	当期末 2017/3	増減額
流動資産	112,929	119,235	6,305
固定資産	31,340	33,571	2,230
資産合計	144,270	152,806	8,536
流動負債	42,901	45,006	2,104
固定負債	3,697	3,913	215
負債合計	46,599	48,919	2,320
純資産	97,671	103,887	6,215
負債・純資産合計	144,270	152,806	8,536

	2016/3	2017/3	増減
商品及び製品	14,519	17,061	+2,541
有形固定資産	15,695	20,148	+4,453

# 7) キャッシュフロー

(単位:百万円)

	前期 2016/3	当期 2017/3	増減額
I 営業CF	10,765	11,356	591
II 投資CF	△ 7,802	△ 6,344	1,457
FCF	2,962	5,011	2,049
III 財務CF	△ 9,488	△ 3,517	5,970
換算差額	△ 304	△ 217	86
増減額	△ 6,829	1,277	8,106
期末残高	27,283	28,560	1,277

	2016/3	2017/3	増減
税金等調整前当期純利益	15,939	13,851	△2,087
仕入債務の増減額	△453	2,826	+3,279
投資有価証券の売却による収入	127	759	+631
有形固定資産の取得による支出	△6,898	△6,304	+594
自己株式の取得による支出	△6,438	△1	+6,437

# 8) 設備投資と研究開発費

(単位:百万円)

	前期 2016/3	当期 2017/3			増減額 (年度比較)	次期計画 2018/3
		期初計画	前回計画※	実績		
設備投資額	6,678	10,000	9,000	7,710	1,032	5,700
減価償却費	3,459	4,000	3,400	3,422	△ 37	3,900
研究開発費	5,910	7,300	6,500	6,466	556	7,300

## ●設備投資の実績

新製品の「型」、計測器・治具、販促用製品、工場生産設備、西落合事業所改修工事  
所沢 総合技術開発センターの建設34億円、朝霞 事業所の建設(免疫試薬部門の移転)7億円

## ●次期設備投資計画

新製品の「型」、計測器・治具、販促用製品、工場生産設備、西落合事業所改修工事10億円

※2016/11/4 第2四半期決算発表時の予想数値

2

# 次期業績見通し

# 1) 経営環境

## 国内

### 2025年医療・介護の将来像

- ・医療の機能分化・強化と連携
- ・地域包括ケアシステムの推進

・2017年3月 全ての都道府県が地域医療構想を策定  
今後、地域医療構想調整会議で各医療機関の  
役割分担等を議論

・地域医療介護総合確保基金 2017年度904億円(医療)

・各都道府県は2018年度からの第7次医療計画を策定  
・2018年度医療・介護のダブル改定に向けた議論が本格化

- ・病院は、地域医療構想に沿って病床再編を具体化
- ・在宅医療の担い手である診療所は堅調に推移

## 海外

### 米国

- ・医療保険法案の動向
- ・医療の質と効率性の向上 ・IDN※の拡大

### 欧州

- ・緩やかな景気回復、英国のEU離脱

### 新興国

- ・原油価格が持ち直し、景気減速懸念後退
- ・一部地域では政情不安が継続
- ・経済発展に伴う医療インフラ整備

医療機器の需要は底堅く推移

※ IDN: Integrated Delivery Network 総合医療ネットワーク

## 2) 次期業績見通し

(単位:百万円)

	当期実績 2017/3	次期予想 2018/3	増減率 (%)
売上高	166,285	175,000	5.2
国内売上高	124,764	128,000	2.6
海外売上高	41,520	47,000	13.2
営業利益	13,585	15,000	10.4
経常利益	14,053	15,000	6.7
親会社株主に帰属する 当期純利益	9,149	10,200	11.5
海外売上高比率	25.0%	26.9%	
平均レート			
1ドル	109.2円	110円	
1ユーロ	119.3円	115円	

← 為替影響除く:+14%

### 【地域別海外売上高】

	当期実績 2017/3	次期予想 2018/3	増減率(%)
米州	18,953	22,500	18.7
欧州	6,988	7,500	7.3
アジア州	12,639	14,400	13.9
その他	2,938	2,600	△ 11.5
海外計	41,520	47,000	13.2

# 3) 次期業績見通しの要因分析

## 【売上高】

(単位: 億円)



## 【営業利益】

(単位: 億円)



# [参考]商品群別売上高見通し

(単位:百万円)

	当期実績	次期予想	構成比(%)	増減率(%)
	2017/3	2018/3		
生体計測機器	37,658	39,800	22.7	5.7
生体情報モニタ	56,117	59,100	33.8	5.3
治療機器	29,728	31,200	17.8	5.0
その他	42,781	44,900	25.7	5.0
売上高合計	166,285	175,000	100.0	5.2
(ご参考)				
消耗品・保守サービス	71,180	75,100	42.9	5.5

3

# 前中期経営計画の総括

# Strong Growth 2017の成果

## 成長を確実にするための基盤固め

### 海外事業基盤の強化

- ・販売拠点設立 
- ・現地マネジメント層の登用 

### 開発拠点の整備

- ・総合技術開発センターの建設
- ・米国開発拠点設立



### 国内生産体制の再編

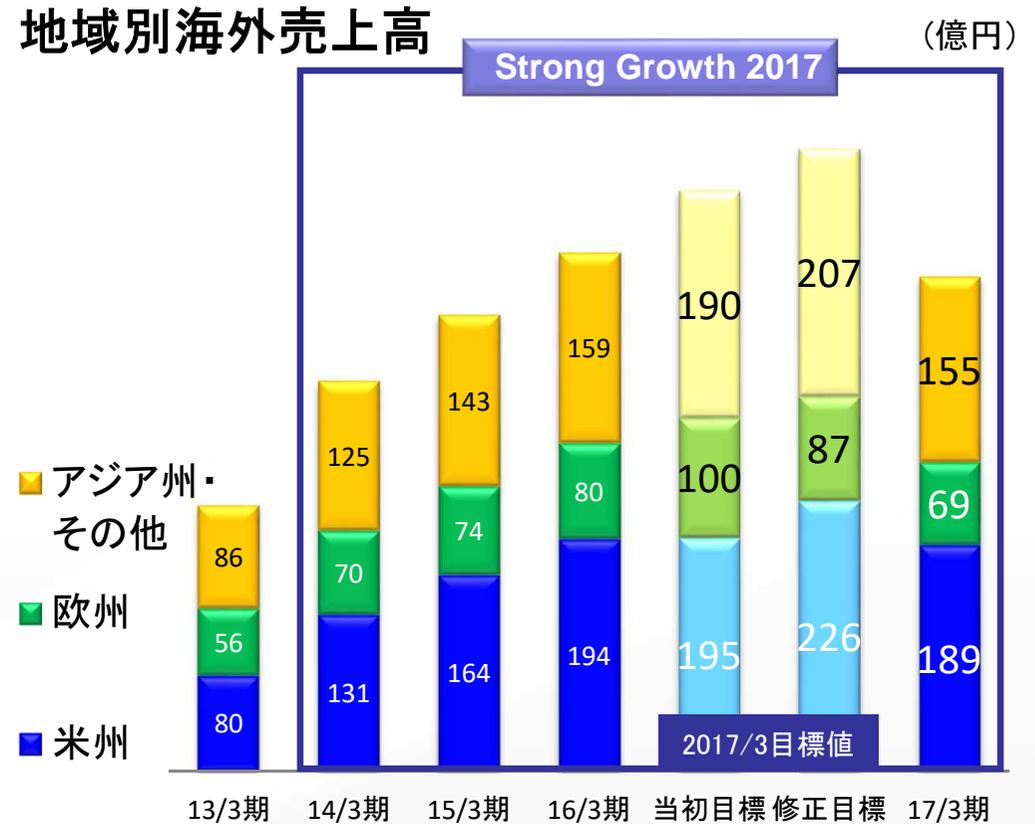
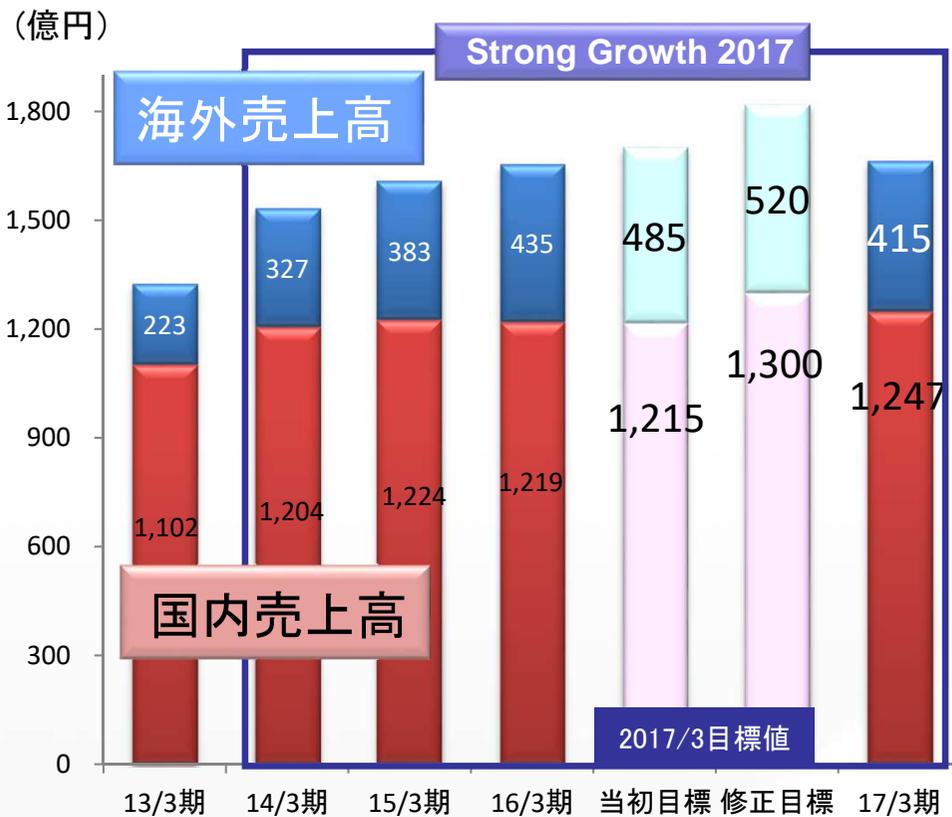
- ・富岡生産センターの稼働
- ・富岡第二工場は消耗品生産に移行



### ガバナンスの強化

- ・監査等委員会設置会社への移行
- ・独立社外取締役4名の選任
- ・指名・報酬委員会の設置

# Strong Growth 2017の定量評価-売上



1ドル	83.0	99.8	109.6	120.1	90	118	109.2
1ユーロ	106.0	134.3	139.4	132.4	118	125	119.3

修正目標未達の要因	外部環境要因	当社要因
国内	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療制度改革の進展</li> <li>急性期病院の経営環境悪化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市場環境をとらえた販売体制、製品開発に課題</li> </ul>
海外	<ul style="list-style-type: none"> <li>円高による換算目減り</li> <li>一部新興国の市場環境悪化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新興国での短納期商談への迅速な対応に課題</li> <li>西欧市場でのプレゼンス向上に課題</li> </ul>

# Strong Growth 2017の定量評価-利益



	外部環境要因	当社要因
修正目標未達の要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>割引率変更等による退職給付費用増</li> <li>円高による換算目減り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>売上高未達</li> <li>売上構成の変化による売上原価率の上昇</li> <li>先行投資負担                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究開発投資</li> <li>・海外販売・サービス体制の強化</li> </ul> </li> </ul>

# 次期中期経営計画に向けた課題

Strong Growth 2017 基盤固めが完了



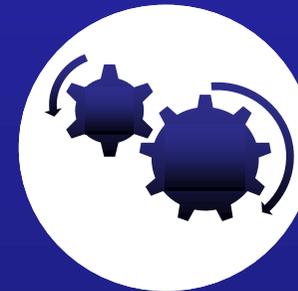
収益力の改善



経営の  
「グローバル化」



海外事業の  
さらなる成長



新規事業の創造

4

# 中期経営計画 TRANSFORM 2020

---

# TRANSFORM 2020 の基本方針

## 高収益体質への変革

コア  
技術

Human Machine Interface

センサ技術、信号処理技術、データ解析技術



### 3つの顧客価値の創造・提供

革新的技術  
Innovation



品質  
Quality



臨床的価値  
Clinical Value



# TRANSFORM 2020 の基本方針

1

## 高い顧客価値の創造

当社の  
強み

センサ技術、データ解析  
技術などの独自技術

顧客価値の高い  
自社製品の  
開発・販売



・競争優位性の高い  
センサ等消耗品



・医療の効率化、患者安全  
に貢献するサービス

消耗品・保守サービス  
売上高比率目標45%

専門性の高い  
グローバル  
販売・サービス  
体制の構築

# TRANSFORM 2020 の基本方針

2

## 組織的な生産性の向上

### 富岡生産センタ

- 生産改革を推進



- グループ最適なグローバル・サプライチェーンの構築

- 生産性の向上
- 世界各国へのタイムリーな製品供給

### 総合技術開発センタ

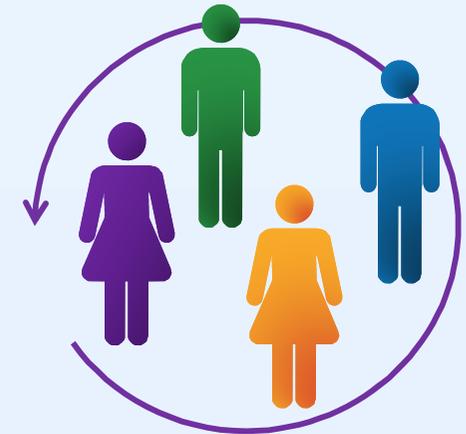
- 充実した研究開発・試験環境の活用
- プロセス管理、品質管理、生産技術による支援体制の強化



開発効率の向上

### グループ全体

- 業務プロセス改革とIT利用の推進



社員一人ひとりの生産性の向上

# 6つの重要課題

地域別事業  
展開の強化

コア事業の  
さらなる成長

新規事業の  
創造

技術開発力の強化

世界トップクオリティの追求

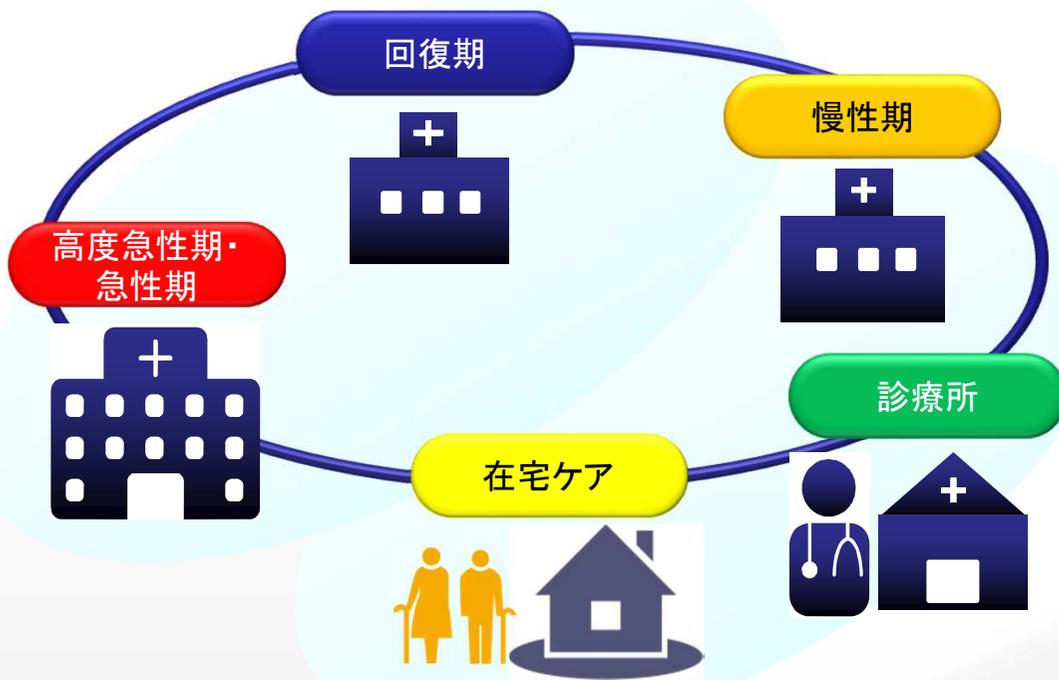
企業体質の強化

# 地域別事業展開の強化

**日本**

高齢社会の医療ニーズに応える新たな成長基盤の構築

✓ 病院経営の改善に貢献するソリューションの提供



✓ 地域医療連携に対応した商品ポートフォリオの拡充

**LAVITA®**

遠隔医療支援システム(2017年度発売予定)



**SUKOYAKA®**

ひとり暮らし高齢者向け健康みまもりサービス



✓ 販売・サービス体制の強化・再編

病院営業

GP※営業

※GP: General Practitioner  
総合診療医

販売子会社制 ▶ 支社・支店制への移行

# アメリカ

## 世界最大・最先端のアメリカでの事業基盤の強化

- ✓ 医療の質と効率の向上に貢献するソリューションの提供

- ✓ 市場ニーズへの迅速な対応、高い顧客満足度を可能とする開発・販売・サービス体制の構築



### ✓ 中国開発・生産体制の増強

ボリュームゾーン市場向け  
製品ラインアップの拡充



日本光電  
ミドルイースト

日本光電  
アジア

上海光電

日本光電  
インド

NKS  
バンコク

日本光電  
マレーシア

日本光電  
シンガポール

日本光電  
メキシコ

日本光電  
ラテンアメリカ

日本光電  
ブラジル

### ✓ インド、東南アジア、中南米市場における 現地生産化の推進、サービス体制の増強

# コア事業のさらなる成長



# 生体情報モニタリング事業

- ✓ 医療の質と効率、患者安全の向上に貢献するモニタリングソリューションの提供
- ✓ 地域別ニーズに応えるグローバルな開発体制の構築
- ✓ ワイヤレス技術を活用した大規模ネットワークシステムへの対応

## 今後の商品展開(予定)



# 治療機器事業

## ✓ 除細動器・AED市場におけるリーダーポジションの確立

救急蘇生ケアサイクルの改善に貢献する独自技術とソリューションの開発



## ✓ 人工呼吸器、麻酔器事業の早期立ち上げ、グローバルな事業展開の推進

独自技術を活用した  
先端的な人工呼吸器、  
麻酔器の開発

		発売目標
国内向け人工呼吸器	総合技術開発センターで開発中	2018年度
新興国向け人工呼吸器	米開発拠点オレンジメッドで開発中	2019年度
麻酔器	アコマ社と共同開発中	2018年度

# 経営目標値(2020年3月期)

売上高	1,900億円	
国内売上高	1,350億円	
海外売上高	550億円	地域別海外売上高
営業利益 (営業利益率)	200億円 (10.5%)	米州 273億円
親会社株主に帰属する 当期純利益	137億円	欧州 82億円
ROE	12.0%	アジア州 165億円
		その他 30億円

想定レート: 1USD=110円、1EUR=115円

# 利益配分の基本方針

成長投資

将来の企業成長に必要な投資を継続

研究開発

設備投資

M&A、提携

人財育成

株主還元

- ✓ 長期にわたって安定的な配当を継続
- ✓ 連結配当性向30%以上を目標
- ✓ 配当を重視し、自己株式の取得は機動的に検討

(円) 【一株当たり配当金・連結配当性向の推移】



注) 2015年4月1日を効力発生日として株式1株につき2株の株式分割を実施  
2015年3月期までの数値は、株式分割前の実際の配当金の額を記載

この資料に記載されている業績予想数値は、当社および当社グループ会社の事業に関連する業界の動向、国内外の経済情勢、各種通貨間の為替レートの変動など、業績に影響を与える要因についての現時点で入手可能な情報を基にした見通しを前提としております。同数値は、市況、競争状況、新商品導入の成否など多くの不確実な要因の影響を受けます。

従って、実際の業績は、この資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

**【担当部署】 経営戦略部**

**【連絡先】 TEL03-5996-8003**